

研究課題：「植込型補助人工心臓装着患者の退院に至るまでの実態調査」

実施期間

データ収集期間：2019年10月から2020年2月

分析期間：2020年2月から2020年5月

研究機関

大阪大学医学部附属病院看護部 循環器内科病棟

目的

植込型補助人工心臓を装着された患者さんは、退院に至るまでに、看護師が作成した退院プログラムをもとに、知識と技術を習得し、退院できるようになります。退院に至るまでの経過は患者さんによって様々ですが、それを詳しく調査したことがありません。今回調査させて頂くことにより、退院に至るまでの経過をより円滑にし、入院生活への満足感につなげることができることを期待し、調べることを目的としています。

方法

今回研究の対象とさせて頂く患者さんは、2014年4月から2019年3月までに植込型補助人工心臓を装着された方です。研究対象となられた患者さんのカルテから、年齢、性別、既往歴、植込型補助人工心臓の種類、入院から退院までの期間、植込型補助人工心臓を装着してからリハビリ開始までの日数、植込型補助人工心臓の機器説明がされた日までの日数、消毒ができるまでの日数、シャワーの防水ができるまでの日数、植込型補助人工心臓装着後に起こった合併症、などを調査させて頂きます。

意義

この研究により、患者さんが不安なくよい入院生活を送り、退院を迎えることができるため、植込型補助人工心臓を装着された患者さんに使用している退院プログラムの改善点を見出すことに繋げていきたいと考えています。

個人情報の保護

本研究で得られた結果は、学会で公表されることがあります。その場合、患者さんの個人情報は、外部から特定できないように厳重に管理しています。この研究に参加するかどうかは患者さんの自由です。研究を拒否されたからといって、今後の診療に、不利益なことは一切ありません。研究の内容に関して、詳しく説明を聞きたい場合や研究を拒否したい場合は下記までご連絡ください。

問い合わせ先

大阪大学医学部附属病院 看護部 循環器内科病棟

研究責任者：看護師 長石恭子

電話番号：06-6879-5111 (代表)